



行事予定表		
1	水	交通安全教室(1歳児以上)
2	木	サロン
3	金	豆まき/ピヨピヨひろば
4	土	発表会
9	木	リトミック(1歳児以上)
17	金	カレーの日
20	月	保育参観(にじぐみ・きりんグループ)
21	火	保育参観(ひかりぐみ・ぞうグループ)
22	水	保育参観(ほしぐみ・だいちぐみ)
23	木	誕生会
24	金	避難訓練

今月は冬の自然を五感で感じられる様な体験をしながら、春の息吹を感じる事の出来る保育を計画していこうと思えます。また、発表会を通し、自己表現の楽しさを味わい、異年齢交流を沢山考えています。

梅のつぼみもふくらんで自然はもう春の準備を始めましたが、冷たい北風が園庭を吹き抜けていきます。寒さが厳しくなってきました。子ども達は、それさえも遊びにしていまいます。半袖、半ズボンで膚を真っ赤にして走っている子もいます。どこからか木の輪を見つけてきて風に乗ってクルクル回るのを楽しんだり霜柱をザクザク踏んだり、バケツに集めたりコマ回し、縄跳び、サッカー、凧揚げならぬ凧引きずり、など・・・ふたばっ子は、風の子、遊びの天才です。



今月の予定から・・・

●交通安全教室(1日)

・今回は教員の方々に寸劇をして頂きます。1歳児から参加して、交通ルールを楽しく学ぶ良い機会になればと思います。

●豆まき&おにぎりデー(3日)

・今年も「おにはくそと!ふくはくちうち!」心の中に住んでいる鬼(泣き虫鬼・怒りんぼ鬼・)を子ども達の力で退治します。節分当日は、ちよつとリアルな鬼が子ども達の心の中の鬼を退治しにやってくるかもしれませんよ!

●発表会(4日) 9時50分

・ドキドキしながらステージに立つ可愛い子ども達の姿を温かく見守って頂けたらと思います。詳細については先日のお手紙とプログラムをよくご覧ください。

●リトミック(9日)

・今月から、1歳児もリトミックデビューをします。中島先生の楽しいご指導に子ども達はどんな反応を見せてくれるでしょうか!

●カレーの日(17日)

・カレーの日は、異年齢交流を行いながら子ども達は、それぞれの役割を果たします。自分の役割を果たす責任感や、やり遂げた成功体験の積み重ねが子ども達の成長には不可欠だと感じます。エプロン、三角巾や朝の仕度は自分で出来るようにサポートしていくのは大人の役目ですね。(少し時間がかかったとしても・・・)

●保育参観(20日・21日・22日)

・今年度最後の保育参観です。お弁当デーは給食献立表を確認してください。詳しい日程は後日お知らせ致します。

☆おしらせ★お願い

☆そらぐみ担任の福田厚美先生のお休みが続き、保護者の方々には大変ご心配をお掛けしております。現在は、たいようぐみ担任の櫻井先生と井上先生、主任の落合先生や補助職員がクラスに入り子ども達が不安にならないように、発表会に向けて活動しています。どうぞ温かく見守って頂けますようお願い致します。

★毎日の送迎の際は駐車場が混雑し大変ご迷惑をお掛けしております。特に迎えの際は、お子さんを引き渡した後、ほかの方への配慮も含め速やかに降園していただけるように、お願い申し上げます。

★来年度の入園・進級式は4月1日(土)に決まりました。詳細については後日お知らせ致します。

「豊かな人生」

子ども達には、「良い人生」を歩んで欲しい。良い人生、豊かな人生は、決してお金持ちになることや、社会的地位の高い人になることとは違う。勿論、良い人生を送っている人もいるだろうが、こういう人達が必ずしも良い人生を送っているとは言えない。「豊かな人生」は、苦しいこと、辛いことがあっても、それを克服して、楽しく自由に自分の思い通りに生活できること、「嫌なことは嫌だ」と言えることだと思う。▼マルツ(心理学者)が「人の人生脚本は幼少期に書かれる」と言っている。みんなから認められ、愛されて、「人といふこと、生きることが楽しい」という生活を幼少期に送っていると言う。反対に、いつも叱咤され、追い詰められ、失敗すると「ダメな奴だ!」「お前はバカだ!」と言われ続ける子は、暗い人生を送る脚本を書かれてしまうと

言う。周囲を見廻すと、ふたばっ子はみんな実に楽しそう。良い人生を送れるだろう。▼幼児教育の目標(ねらい)は、意欲、心情、態度を養うことだと言われる。「意欲」は、やる気、苦しいことにもチャレンジすることなどである。「態度」は社会人としての生活習慣やマナー、規範意識などである。「心情」であるが、文字通り心と情(情緒)である。やさしい気持ちや勇気、情緒を理解すること等である。▼豊かな人生を送るためには、心情につながる感性が大切であると思う。いい目と、いい耳と、いい舌と、いい膚と、いい鼻と、いい脳(六感)が必要である。同じ自然の中にも、緑の色の違い、多様な美しさ、空と雲の色彩とその濃淡、頬をなでる風のそよぎ、匂い、静寂の中にある沢山の種類の鳥の声、風の音・・・感性の違いによって生きる喜びが違ってくる。食べることも同様。一流のソムリエは鼻が良く、舌の感覚がよいというが、私たちも、同じものを味わっても、味わいの深みが違ってくる。いい感性を持っていると、人生が豊かになり、深まる。いい感性は、美しさや優しさや、美味しさや悲しさを感ずる力であり、物事の本質を見抜き、感じる力である。深い思考と感性で、社会がおかしな流れになった時、ポピュリズムに流されず「何かおかしいぞ」と感じるようになること。子ども達に、そういう感性を持った人間になって欲しい。

追伸 いくら、個人が幸せで豊かな人生を築いても、悪政や暴力(戦争)によって、一瞬に奪われてしまうことがある・・・平和な世界を子ども達に伝えたい。「嫌なことば嫌だ!」と言える人になって欲しい。

